2020全国コミュニティ・スクール研究大会in栃木

第2分科会「小中一貫教育とコミュニティ・スクールによるこれからの教育の姿」

地域・行政・各校種が協働する「まちづくり」と「ひとづくり」

～学校再編とコミュニティ・スクールを軸に構築してきた『能勢スタイルの教育』の仕組みづくり～

2021.2.5　　大阪府　能勢町教育委員会　学校教育課長　辻　新造

能勢町の紹介

大都会大阪の最北端にある町

一昨年のG20で使われた「秋鹿のお酒」

大ぶりで甘みの詰まった能勢発祥の栗「銀寄」

樹齢1,000年以上の「野間の大けやき」

- 面積　98.75㎢
- 人口　9,723人(令和2年12月1日現在)
- 世帯数　4,578世帯(令和2年12月1日現在)
- 高齢化率　41.0%(令和2年12月1日現在)
- 児童人口(0～17歳)　852人(令和2年12月1日)
- 出生数　20人(令和元年度)
- **児童数288人　生徒数181人**

※平成28年4月に町内の6小学校2中学校を施設一体型の小学校1校、中学校1校に再編

町立保育所1か所、私立認定こども園1か所

報告テーマ

地域・行政・各校種が協働する「まちづくり」と「ひとづくり」

～学校再編とコミュニティ・スクールを軸に構築してきた『能勢スタイルの教育』の仕組みづくり～

①学校再編

少子化人口・児童生徒数減少　6小学校2中学校
教育構想検討委員会・学校教育検討委員会・答申
再編整備の基本方針　能勢新学校建設工事経過

②町内に新学校創設

小1校・中1校　施設一体型「能勢ささゆり学園」建設
通学方法の基本的な考え方

③『能勢町教育委員会のチャレンジ』

国事業加配活用「地域とともにある学校の仕組みづくり」
グローカル人材の育成
町教委が核となってつなぐ地域学校協働活動
コミュニティ・スクールと地域学校協働本部
アフタースクールとボランティアの組織化

④行政内の協働活動

家庭教育支援制度整備
学校版スクリーニング会議（大阪府立大学連携）
子どもの居場所づくり事業

⑤ふるさと科「グローバル能勢」

学校博物館　創設　旧学校備品活用
G能勢教職員研修会継続　計14回

⑥体力づくり支援事業　オノマトペ体操

スクールバスによる体力低下克服
（大阪経済大学連携）

⑦小中高一貫教育の継承・発展

カリマネと社会に開かれた教育課程へ

⑧高校生と考える　これからの社会像

高校生×町行政　ドイツ視察
持続可能な社会の創り手育成プログラム

⑨豊中高校能勢分校の進学者拡大へ

能勢分校への進学者を増やす取組
能勢分校下宿制度（のせ里山ファミリー制度）
能勢分校存続の課題
改善に向けたプラン

①学校再編

少子化人口・児童生徒数減少
６小学校２中学校

能勢町教育構想検討委員会
平成18年提言書

平成16年末　6項目抽出
- ①少人数クラスについて
- ②通学区域制度について
- ③学校、家庭、地域の役割について
- ④子どもの安全対策について
- ⑤子どもたちの学力低下について
- ⑥小中高一貫教育について

平成17年末　6項目検討

平成18年「今後の学校のあり方アンケート調査」

結果：①②を十分に吟味し、分析・検討した結果、現時点での学校統廃合は時期尚早であるとの判断

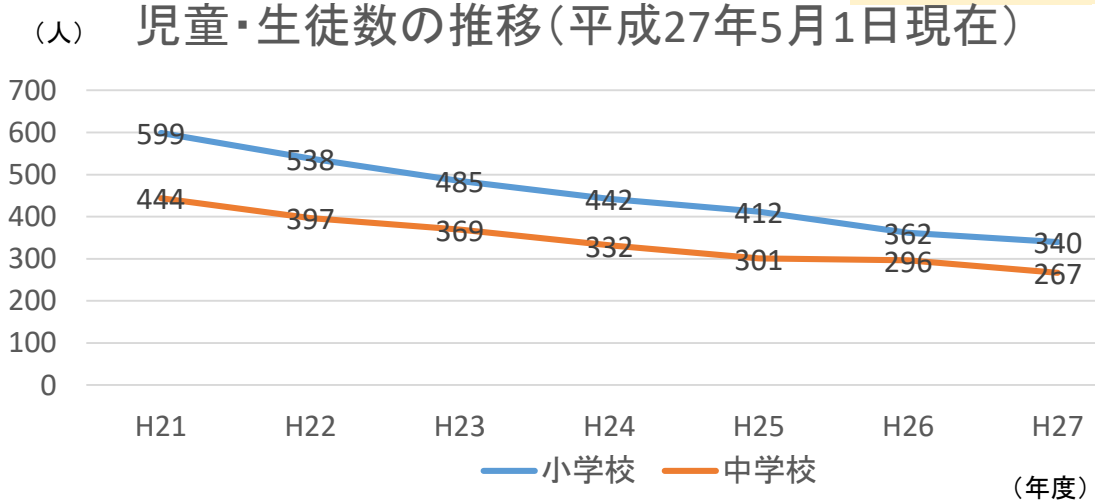
能勢町立小中学校の教育環境について（答申）
平成21年8月　能勢町学校教育検討委員会

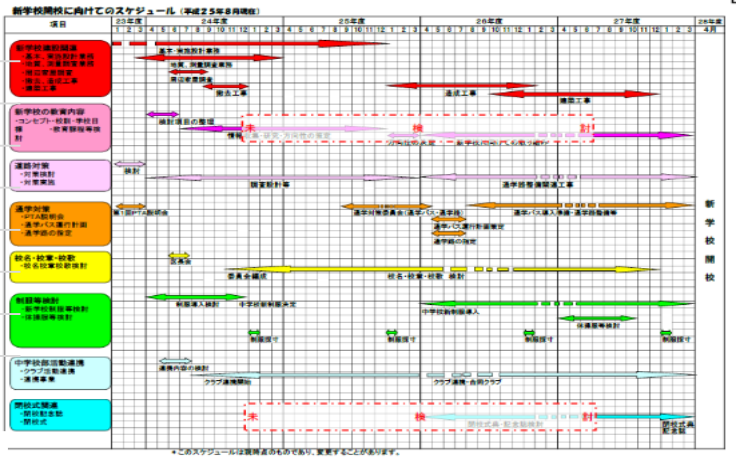
検討すべき内容
- ①学校規模・今後の児童生徒数の推移
- ②学校施設の耐震診断結果と安全対策
- ③学校・家庭・地域の連携を大切にした能勢らしい学校教育のあり方
- ④これからの教育環境のあるべき姿・方策

⇒平成20年9月から21年7月　計10回

能勢町学校再編整備に関する基本方針
平成21年11月策定

- ①クラス替えができる規模にする
- ②小学校1校中学校1校を同一敷地に建設
- ③遠距離通学にはスクールバスの通学手段を確保
- ④教育環境の一層の充実
- ⑤安全安心な学校づくり





①−2 能勢新学校建設工事経過

平成23年：10月　基本・実施設計業務に着手
平成24年：　9月　旧府民牧場施設の解体撤去
平成25年：12月　造成工事着手
平成26年：　9月　建築工事に着手

平成28年：　1月　建築工事完了

東棟　地盤改良中

H26年11月　地盤改良工事

東棟　基礎工事中

進捗率　約3%

H26年12月　東棟　基礎工事

進捗率　約64%

H27年8月　東棟　内部仕上工事　・　西棟　内装工事

進捗率　約99%

H28年1月　建築物完成

②-１　町内に新学校創設

小学校1校・中学校1校　施設一体型「能勢ささゆり学園」建設

小学校運動場　5,247㎡
中学校運動場　8,755㎡

プール２　25m×3コース
プール１　25m×6コース

情報学習センター（自習室）

情報学習センター（図書室）

オープンスペース

ランチルーム

②-2 通学方法の基本的な考え方

＊徒歩	・片道概ね3km未満の児童
＊自転車	・ 片道概ね6km未満の生徒
＊ｽｸｰﾙﾊﾞｽ	・ 天王及び東地域の児童生徒

片道概ね3km以上の児童
片道概ね6km以上の生徒

スクールバス　朝　　1便　　7:50着
　　帰り　3便　15:30・16:30・17:30
　　10路線　　中型4台、マイクロバス6台